

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

<b>(1) 活動成果</b>
<b>&lt;演奏内容に関して&gt;</b>
ドイツ在住メンバーの帰国後、約 10 日間のリハーサル、また試演会・ロビーコンサートなどを経て第一回定期演奏会に臨みました。お互い違う持ち味を持った奏者が多いので様々な意見がありましたが、先述したように多くの時間をかけてリハーサルを行ったこともあり、最終的には皆が納得いく結論にまとまり、定期演奏会ではとても集中力を持って演奏することができたと思います。
また、ご来場いただいた東京藝術大学学長の澤和樹氏よりお褒めのお言葉をいただいた他、お客様からいただいたアンケートからも満足された様子が感じ取られ、第二回定期演奏会を行う上で大きな励みとなりました。
<b>&lt;プログラムに関して&gt;</b>
ショスタコーヴィチとブラームスのピアノ五重奏という個性の異なる大曲 2 つを並べるということで、ピアノ五重奏という編成の響きの多様性を感じ取っていただけたのではないかと思います。
また私共にとっても第一回の定期演奏会でこのような大作 2 曲を勉強することによって、それぞれの奏者の持つ音楽的理念や人間性を相互理解することができ、そのような意味でもとても大きな収穫となりました
<b>&lt;集客に関して&gt;</b>
定員 200 人の会場に対して 9 割以上である 185 名のお客様にご来場をいただき、集客としても成功ということができると思います。
<b>(2) 今後の課題</b>
<b>&lt;演奏内容・プログラムに関して&gt;</b>
それぞれのメンバーが年齢を重ね職場であるオーケストラ・大学での仕事が増える中、メンバー全員が室内楽奏者としての演奏の質を保つこと、そしてリハーサルにおいて皆が同じ熱量を持って向かい合うことは簡単ではないと予想されるので、第一回の定期演奏会で持っていた緊張感を忘れることなく今後の演奏会に向けて準備していく必要があると思います。
また、第二回定期演奏会（今年の 7 月に銀座王子ホールで開催予定だったのですが、コロナウィルスの影響で翌年度に延期）ではエネスコの五重奏というかなり演奏頻度の少ない作品を取り上げるので、このような作品でもお客様の心に深く届くような演奏をするよう、リハーサルまでに各々楽譜を読み込み、作品の細部に渡るまで奏者同士で共有できるよう心がけたいと思います。
<b>&lt;集客・運営に関して&gt;</b>
第二回定期演奏会は 2021 年に東京文化会館小ホールで行う予定です。客席数が一気に 3 倍に増えるので、その差を埋めるよう前回ご来場いただいたお客様はもちろんのこと新しいお客様の獲得のため集客に力をいれる必要があると考えております。
また、第一回定期演奏会では当日のスタッフが少なく、ロビーの前に長い行列ができてしまいお客様にご迷惑をおかけしたので、次回は人数に余裕を持たせ、このようなことがないよう心がけたいと思います。

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費 用	金 額	摘 要
(1) 会 場 費	122,040 円	ホール代金 ①
(2) 印 刷 製 本 費	7,169 円	プログラム印刷代金 ②
(3) 旅 費 交 通 費	107,520 円	交通費 (ドイツ⇄日本) ③
(4) 謝 金		
(5) その他	24,840 円	調律代 ④
	32,400 円	ピアノ代スタインウェイ D-274 ⑤
	2,160 円	ワイヤレスマイク貸出代金 ⑥
	3,240 円	CD-R レコーダー貸出代金 ⑦
	2,700 円	録音マイク ⑧
	2,160	基本装置一式 ⑨
合 計	304,229 円	

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。

**記録写真等貼付欄（画像印刷可）**

活動の様子を記録した画像・写真等がある場合は、このスペースに貼付してください。

※スペースが足りない場合は、別途添付してください。

お送りいただいた写真等は原則として返却いたしませんのでご注意ください。



↑写真2（リハーサル風景）